TYPE OF INDUSTRY

中小企業・地域経済

マダガ

マダガスカル向けに開発を進めるハイブリッド型ロケットクッキングストーブ

これを解決するため、現地の廃材や未利用のモミガラなどを燃

和歌山県に2社進出

小西化学は本社工場増設

【和歌山】和歌山県は21日、小西化学工業（和歌山市、小西弘矩社長）が本社工場を増設し、八代（大阪市平野区、北野幹浩社長）も同県橋本市に工場を新設すると発表した。

小西化学は米ボーイング787の炭素繊維強化プラスチック（CFRP）用エポキシ樹脂などを製造。高付加価値製品を本社で新たに複数製造するため増設する。2018年8月に操業を始める。建設面積は6300平方㍍で総投資額は6億円。14人を新規雇用する。

八代も主力の油脂・食品添加物の受託加工が伸び、生産能力と品質管理体制の増強を狙い新設する。19年3月に操業を開始。延べ床面積は3000平方㍍。土地代を除く投資額は30億円で、新たな雇用は10人。

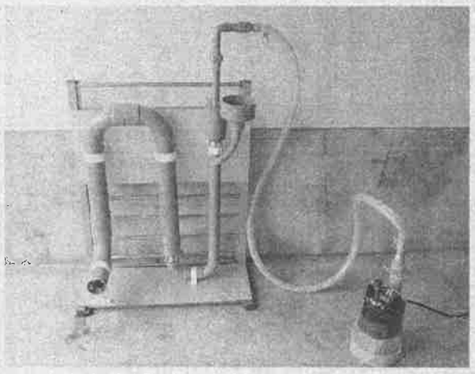
県は併せて、商工中金と連携し創業融資や県外企業誘致などに取り組む協定を30日に結ぶと発表した。18日に京奈和自動車道が県内全線開通するなど課題の交通利便性が向上。仁坂吉伸知事は「高速道の利便性では他地域に負けなくなっている。中小を中心に企業立地に努めたい」と強調した。

陸上養殖に簡易装置

ポンプ1台で酸素・エサやり

【札幌】SANSUI技術開発企画（札幌市豊平区、下山強代表、090・5227・0586）は、魚介類の陸上養殖向け「養殖用旋回流気液混合装置」を開発した。ポンプ1台で水槽内への酸素供給とエサの供給などが同時にでき、水質環境の保全や人件費などの削減につながる。発明大賞（日本発明振興協会主催）の受賞者でもある下山代表が、実用化に向けて連携企業を探す意向だ。

養殖用旋回流気液混合装置は、表層水と深層水のかき混ぜなどによる水質改善とともに、水槽の上部と下部での水温の均一化も図れる。従来の養殖技術や工法では装置のサイズが大きくなるほか、電力コストや人件費も多くかかると分析。同装置はポンプ1台と「既存の配管などを活用して製作できる」（下山代表）とし、製品価格なども安価にできるとみている。発展途上国への展開も見据える。



水をかき混ぜて水質改善する旋回流気液混合装置

SANSUI技術開発企画 実用化へ企業連携探る

下山代表が理事を務める「札幌ものづくり研究会」では、動画投稿サイト「ユーチューブ」で稼働時の同装置を紹介している。同装置の開発は、下山代表が保有する特許で槽内の水温を均一化する「給湯槽」を応用。給湯槽は「撹拌式温度調整型貯湯槽」として第34回発明大賞の考案功労賞を受賞した。

企画立案で総合政策局

部局横断に「調整室」 富山県が組織再編

【富山】富山県は県行政の総合調整機能の強化と観光・交通行政の一体的な運営を目指し、2017年度から知事政策局を「総合政策局」に、観光・地域振興局を「観光・交通・地域振興局」にそれぞれ改組する。重要施策の企画立案を強化するため、大幅な組織再編を行う。

総合政策局には総合計画や地方創生、広域連携などを部局横断的に企画立案、調整を行う「企画調整室」を設置する。少子化対策や働き方改革など推進するために「少子化対策・県民活躍課」を新設し、同課内に「女性活躍・働き方改革推進班」を設ける。

観光・交通・地域振興局では、観光振興や地域活性化策と交通関連施策などを一体的・効果的に進める。知事政策局から「総合交通政策室」を移管し、同室に「地域交通・新幹線政策課長」と航空路線の開拓や空港の活性化のため「航空政策課長」を置く。観光課は「観光振興室」に改組し、立山黒部のブランド化やコンベンション誘致、国内外への観光PRなどを強化する。

愛知県、充電器2000基に

EV・PHV用 20年度目標上積み

【名古屋】愛知県は21日、電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド車（PHV）用充電設備の県内設置数を2020年度末に2000基とする目標を発表した。従来は20年度に1600基の目標だったが、3月時点で既に県内全市町村で1723基を整備。足元の整備状況を踏まえて目標を上積みし、充電インフラのさらなる普及を目指す。

県によると3月時点の県内のEV・PHV用充電設備は急速充電器365基、普通充電器1358基の計1723基。目標を上回るペースで設置が進む一方、一カ所に複数の充電器を設置するケースも多く、設置箇所数は目標に達していない。

愛知県は16年3月末時点のEV・PHV普及台数（約1万3700台）、充電設備数（約1600基）とも全国1位。今後も「道の駅」など未整備の場所中心に設置を進める。

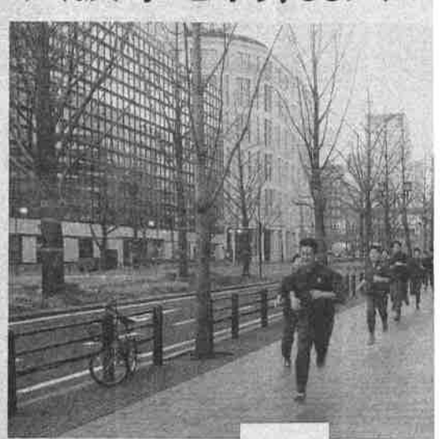
認可保育所を併設

川崎信金、登戸支店オープン

【横浜】川崎信用金庫（川崎市川崎区、草壁悟朗理事長、044・222・7581）は21日、川崎市多摩区の登戸支店をリニューアルオープンした（写真）。信金では全国初となる認可保育所を併設した。川崎市の待機児童解消政策に貢献するほか、地域の交流拠点を目指す。

同支店は川崎市の北部（多摩区、麻生区）を統括する基幹店舗。川崎市と2014年に締結した包括連携協定に基づき認可保育所を併設した。支店は4階建てで1―2階が店舗、3階は約120人を収容できる会議室、4階と屋上に「登戸ゆりのき保育園」が入居する。約80人の児童が4月1日に入所する予定。福本広幸専務理事は「金融機関の本領を発揮するとともに、地域の子育てに役立ちたい」と決意を述べた。

大阪中心街、85人カ



3月の休日早朝、まだ
気の大阪市内ビジネス街
フレッシュマン、フレッ
マンらの一団が駆けた（写
密バルブ大手のフジキン
北区、野島新也社長、06
41）が大阪市内で催し
「入団式」。新卒70人（男性
性23人）と、60代を含む
15人が参加した。好調な

景に、新
早朝マ
を整え、
「今は第
い元気を
まき散ら
贈った。
野山に移
（女性は
から1カ

「キング の塔」をイメージした机

商工中金横浜支店ロビー展

【横浜】商工中金横浜支店は、横浜港のシンボルである「横浜三塔」の「キング」（神奈川県庁）をイメージしたロールトップデスク（写真）を6月末まで同支店に展示する。

昭和初期に流行した伝統的なロールトップデスクを現代の技術で表現した。

デスクの製作は神奈川県家具工業組合（横浜市中区）に所属する若手経営者グループ「かなもく塾」が手がけた。同組合の小安亮専務理事は「デザインと技術力の両方をアピールしたい」と述べた。田中孝典横浜支店次長は「横浜の魅力を伝えられるよう少しでも手助けしたい。お客様の待ち時間の解消にもつながれば」と話す。

ワイピーシー（習志野市）＝幼児向けブロックの製造販売体制の構
用出隅の需要に対応できる製造ラインへの革新

国内及び外国
特許・商標・意匠・実用新案
蔦田内外国特許事務所
電話 06(6271)5522(代)
大阪市中央区備後町一七一〇ニッセイ備後町ビル九階
（堺筋本町北へ備後町寄入ス）
FAX 06(4964)2217

両親の情報

父の職業	農家	年齢	31 歳
母の職業	農家	年齢	29 歳
両親の状況			

東南アジア5ヶ国には、
家庭が貧しくても学校で学
子どもがたくさんいます。
ダルニー奨学金は、そんな子
1対1で支援する里親型の
支援している子どもの写真
1年に1度あなたのもとに
成長していく姿を
見守ることができます。